

# 隨泉寺寺報

平成 26 年（2014 年） 4 月号 第 524 号

TEL 082-892-0217 http://www.zuisenji.com

浄土真宗本願寺派 高峯山隨泉寺

春季永代経法要

講師 順覚寺住職 檜崎 正道師

講題 『他にあることなし、これで大丈夫』

■永代経法要 ～縁のある人々のご恩を偲ぶ法要～

「歩んだ道をふり返って確認 だいじょうぶ だいじょうぶ

だってあなたに会えたもの いままでの全てに ありがとう」 澤田直見

不思議な縁で親子兄弟、夫婦となりました。お育てをいただいたご恩、教えていただいたご恩、そのご恩を永代忘れません。自分の人生を振り返り、 ようこそ、 ようこそ、出会うことが出来ました。

永代経の懇志は、亡くなられた方をご縁にして、お寺が護持され、それによってみ教えが「永代にわたって維持されますように」という願いが、実は永代経懇志を進納する人の本来の願いです。

永代経の永代とは、法（釈尊の教え）が永代に受け継がれてゆくという意味をもつものであり、まさに「念仏の声を世界に子や孫に」とのスローガンにあらわされるところにほかなりません。

そして、永代経懇志が寺院と、み教えを護持する基盤になることによって、「自らが如来の教法にめざめるとともに、他の人びとのめざめの縁になる」ということを明らかにして行くべきでありましょう。

## 4 月の法座予定

4 月 2 日 …………… 本部役員会 花見

4 月 13 日 …………… 掃除 長者原東

4 月 14 日 …………… 春季永代経法要 前住職 7 回忌法要

4 月 15 日朝席午前 10 時より …… 春季永代経法要 婦人部総会 おとき

4 月 15 日昼席午後 1 時より …… 春季永代経法要 引き続き役員総会

5 月 2 日午後 5 時より …………… 門信徒会本部役員会

## ☆ 前住職 聞思院釋不動法師 7 回忌法要

安楽浄土にいたるひと 五濁悪世にかへりては

釈迦牟尼仏のごとくにて 利益衆生はきはもなし

月日のたつのは早いもので前住職の 7 回忌が近づいて参りました。御多用のことと存じますが、ご参拝、ご焼香下さいませようご案内申し上げます。

とき 平成 26 年 4 月 14 日（月）午後 1 時より

ところ 隨泉寺本堂

前住職は毎年元旦会で今年の抱負 座右の聖語を申しておりましたが、お浄土に還浄する前の年は病院からファックスで送って来ました。

【今年の聖語を「聞思莫遲慮」と致しました。親鸞聖人の主署「教行信証」の総序のご文です。「撰取不捨の真言 超世希有の正法 聞思して遅慮すること莫れ」】

『お念仏はあなたを必ず救い取って捨てない、この世でまれな尊い正しい法、聞きえて教えに遇ったなら、躊躇することなくその法にまかせよ』ということです。

お念仏の教えはお釈迦様が説いてくださった八万四千といわれる多くの教えの中のひとつの法です。どの教えも尊い教えですが、全ての人々が救われるというものではありません。厳しい修行を成し遂げられる人、難しい学問を理解できる人、静かに座禅を組み煩惱を離れる事ができる人、等々の優れた人のみが到達できる境地では、到底私が救われることにはなりません。

お念仏のみ教えは、全ての生きとし生けるものが何一つ条件をつけなくて、すぐわれて仏にならせていただく教えです。だから【撰取不捨の真言 超世希有の正法】なのです。前住職はそのお念仏の法に遇ったのだから【遅慮すること莫れ】と勧めているのです。

どうぞ前住職の遺言と思って心に留めてください。

ちなみに前住職の《院号》《聞思院》はこの言葉を出拠としています。

## ☆ 門信徒会役員総会 4 月 15 日昼席終了後～

4 月 15 日昼席終了後、門信徒会の役員総会を開催します。旧の役員の方々は 2 年間ご苦労様でした。ちょうど庫裏の増改築の事業の最中でしたので、いろいろと有難うございました。何かとご心配をいただきました。これからもこれをご縁にお参り下さい。

新しい役員の方はこれからよろしくお願ひいたします。永代経の法座にもお参り下さい。

## ☆御礼

永代経懇志 金 拾萬円 小西 修司殿 故 小西 キクエ様 特 永代経志として

永代経懇志 金 貳拾萬円 出口 富士枝殿 故 出口 元司様 特 永代経志として

永代経懇志 金 参拾萬円 品川 守殿 故 品川 益代様 特 永代経志として

永代経懇志 金 貳拾萬円 品川 守殿 品川家先祖一切様 特 永代経志として

## ☆御礼

門信徒会へ 金 一封 出口 富士枝殿 故 出口 元司様 香典返しとして

# ☆浄土真宗本願寺派門主 大谷光真著 「あけぼのすぎ」

-- 浄土真宗一口法話 --4 月

「めぐりあいのふしぎにてをあわせよう」

四月は学校や幼稚園保育園の入学の時期です。本願寺へも、個人で、あるいは関係学校から新入生そろって、お参りに来て下さいます。自分で選んだ学園に入学した方もあり、そうでない方もあります。それぞれに、恵まれた縁を大切にしていきたいと願っております。

現代日本の社会では、自主独立、自己責任ということが重要視されます。それももつともですが、よく考えてみると、人生はそれだけでは無いことに気が付きます。良いこと、良くないこと、自分で選んだというよりも、向こうからやって来た、恵まれたとしか言い表せないことがあります。その中に、素晴らしいことを見付け出せるならば、生きる喜びは大きく深いものになりましょう。そのためには、自分にとって都合が良いかどうか、損か得かという利害を超えたところに、大きな願いがはたらいていると気づくことが大切です。

目先の事には役立つとは限らないけれども、いつも私のいのちの根本へ喚びかけて下さる南無阿弥陀佛に育てられ、導かれて、共に手を取って歩みたいと思います。

4 月 東井 義雄師

小さくてもいいのだよ

あんたの花を力いっぱい咲かせておくれ



お釈迦さまがご誕生なさった四月。花まつりの四月。木や草がじっとしてはられないというように芽をふく四月。何ものにもかえられない大事なお子さまが入園なさり、新しい出発をなさる四月。生きとし生きるものがいのちの不思議を輝やかせる四月。生命の大合唱のひびきたる四月。

私の勤めさせていただいた学校校のそばに天に聳える櫨の森がありました。その昔い櫨の大木が芽をふく四月の感動を私は忘れることができません。私はそれを仰ぎながら、年をとるにつれて感動を喪いがちな私ではあるが、新しく入学してくれた子ども、新学年をスタートする子どもたちに、生きるということのただごとではないことに目を覚まさせ、伸びずにはおれない芽を育

てるためには、私自身が、あの櫨のように若木よりももっと美しい、もっと新鮮な芽をふかなければならないのだと、自分に言い聞かせたことでした。

人間は五千とおりの可能性をもって生まれてくるというのが、今日の学者の先生の定説だということです。殺人鬼も、泥棒も、爆弾犯人も、問題少年も、みんな、誰かが、せつかくの人間の子どもを、そのような可能性の方向に突っ走らせてしまったのです。

お釈迦さまも、お若い頃、たくさんな可能性の中でお迷いになり、お悩みになりました。けれども、遂に、この大宇宙の根源のところではたらきづめにはたらいている大きな願い（本願）に目覚められ、この願いに生きる以外に自分をほんとうの自分に育てる はないことを自覚なさり、それを私たちに教えてくださったのです。

うっかりしていると見過ごしてしまうような小さいすみれにも、願いはかけられているのです。「小さくてもいいのだよ、あんたしか咲かせることのできないあんたの花を、カいっぱい咲かせておくれよ」と。花のいのちの短い桜にも「花のいのちの長い短いは問題じゃないんだ。カいっぱい咲くことこそが大事なんだ。カいっぱい咲いてさえくれれば、それでかわいいさくらんぼが誕生してくれるんだよ」と、そんな願いの声が聞こえてくるではありませんか。そして、その願いは、あなたの大切なお子さまの上にもかけられているのです。この仏さまの願いを活かす保育、人間をほんとうの人間に育てる保育をと念願なさっている先生方と手をヒリあって、お子さまのほんとうの可能性の芽をお育ていただきたいのです。

## ☆ 良き伴侶であり、最高の父親でした

夫は、国鉄バスや海田自動車学校の送迎バス運転手として長くハンドルを握り、多くの皆さまの、命を預かる仕事に励んでまいりました。後年も地域の安全に力を注いだ、その人生を振り返り、改めて夫の大きさを実感しています。

平成二十年に交 安全功労者となり、交 栄誉章である緑十字銀章をいただいた夫。それは、車の運転免許を取得してから、無事故無違反を続けた、夫の精進が報われた瞬間でもありました。

退職後は、地域安全パトロール隊を結成して、防犯や見守りなどに、尽力していたものです。誰に対しても、笑顔で接し、小さなことに感謝を忘れ 人でした。

夫 暑は、平成二十六年一月十一日、八十一年の生涯をとじました。病と闘ったこの二年、夫が頑張ってくられたのは、皆きまのお見舞いや温かいご支援のおかげです。 れは寂しくてなりません、夫の生き方を手本に、これからを歩いていくと誓って見送ります。

生前、皆さまより賜りましたご厚情に、深く感謝申し上げます。

平成二十六年一月十三日

広島市安芸区中野東五丁目十三番十一号 市田 和子  
法名 釋浄署 俗名 市田 署 平成 26 年 1 月 11 日往生 82 歳

